

会 議 録				
平成18年度第8回 社会教育委員の会議	日 時	平成19年1月22日(月) 午後2時00分～4時20分	場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出席者	委員	福島議長、彦坂副議長、井土、兼森、君塚、堀井、藤川、田中、武田各委員 (欠席) 柿崎委員		
	その他	石川教育部次長、伊藤生涯学習課長補佐、中嶋公民館長、古屋図書館長、 林体育課長、		
	事務局	木村生涯学習係主事、宇佐見非常勤嘱託職員		
傍聴の可否	◎可・一部不可・不可	傍聴者数	0人	
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1. 報告事項				
(1) 管外視察研修について				
(2) 1月15日の小委員会について				
(3) 平成19年成人の日記念行事について				
(4) 図書館本館のトイレ工事及び学習室の工事の概要について				
(5) 第44回東京都公民館研究大会の結果について				
(6) その他				
2. 協議事項				
(1) 小委員会の開催について				
(2) 三者懇談会について				
(3) その他				
1. 報告事項				
(1) 管外視察研修について (社会教育委員)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 菅生中学校、臨港中学校共にそれぞれ地域性による特色があった。 ・ 地域教育会議が立ち上がったのは市民参加型によるところにあると思う。 ・ 菅生中学の学校評価については違和感もあり、教師への負荷も大きいのではないか。 ・ 両地域とも学校と地域の連携がうまくいっている。地域が学校へ働きかけるにはハードルが高いが、地域を良くしなければとの思いを共有したのだろう。 ・ それぞれの学校の状況に合わせて作られていると改めて思う。 				

- ・ 教師に比重があったが、地域の教育力を上げることに力を注ぐ必要がある。
- ・ 学校側の考えで一方的にならぬよう、地域が何を指すか、地域の力の出し方を小金井なりに考えようと思う。
- ・ 地域と学校の協力と理解がないとできないことだ。
- ・ 小金井の地域にあったやり方を模索したらよい。
- ・ 川崎市には長い実績があるが、これから小金井なりの実績を積み上げ、地域の教育力を活用できればよいと思う。
- ・ 教育政策が転換する中であって、地域住民が学校教育に立入り、中身を評価することは両刃の剣でさまざまな側面が出てくる。ゆえに、地域教育の目的、方向性と中身を小金井の地域的課題に即して決めていくことが大切だ。

(2) 1月15日の小委員会について

(福島議長)

- ・ 地域の力を取り込むため団体のネットワーク整備をし、学校・公民館・市役所を結ぶことが求められる。
- ・ 子供を中心に大人も豊かになることを理念として考え、議論を進めたい。
- ・ 中学校区を中心として
 - 第一中学校区：一中、二小、本町小
 - 第二中学校区：二中、一小、南小
 - 東中学校区：東中、東小
 - 緑中学校区：緑中、三小、緑小
 - 南中学校区：南中、四小、前原小
 といった区割りが良いのではないか

(3) 平成19年成人の日記念行事について

(伊藤生涯学習課長補佐)

- ・ 1月8日(月)に中大附属高校講堂にて、午前11時に開始、一部式典・二部抽選会が行われ、午後1時半に終了した。貫井囃子保存会、着付けは国際ソロプチミスト東京-小金井、生け花は華道連盟、受付はスカウト協議会の各団体にご協力頂いた。
- ・ 成人対象1,306名中608名の出席で出席率46.6%、昨年度の出席率49.5%に対し約3%減。会場が市の中心部から遠かったことが影響したものと思われる。
- ・ 学校内敷地のため例年の軽食、餅つきなどは省き、地域のサッカーチームFC東京選手から頂いたメッセージを紹介し、またユニフォームやペアチケットの商品提供を受けた。
- ・ 中大附属高校の成人式は初めてであり、問題点を洗い出し来年度に反映したい。

(4) 図書館本館のトイレ工事及び学習室の工事の概要について

(古屋図書館長)

- ・ トイレパイプ老朽化による改修工事のため図書館本館を臨時休館した。
休館期間 平成18年12月21日～平成19年1月15日
- ・ 併せて、駐輪場敷地2階部分に学習室を建築中。
- ・ 工事期間： トイレ改修工事 平成18年12月18日～平成19年2月末日
学習室新築等工事 平成18年12月13日～平成19年3月末日

(5) 第44回東京都公民館研究大会の結果について

(中嶋公民館長)

- ・ 平成18年12月3日(日)小金井第二中学校体育館を全体会会場として開催された。
- ・ 参加申込者数428人、22自治体。参加者数は全体会358人、課題別集会396人。
- ・ 全体会テーマは「地域づくりに果たす公民館のあり方と新しい創造」と題し、地域において人々の暮らしを豊かにする公民館とは何なのかを追求することと、新しい創造を求めるきっかけの場を考える機会として、研修を充実する方向で開催された。
- ・ 全体会では小金井市公民館の特徴である企画実行委員制度の説明などが行われた。
- ・ 全体会終了後、第1～第8課題別集会が公民館本館及び、第二中学校で行われた。
- ・ 現在、研究大会記録集の作成に向け各集会から原稿の提出を依頼中、本年3月にはCD-ROM化し、参加者に配布を予定している。
- ・ 大会参加費に加え、東京都公民館連絡協議会と本市からの予算範囲内で実施することができた。
- ・ 今大会は、小金井市として31年ぶり、2度目の開催だったが、市制施行順に改まり平成21年度に3度事務局市となる。アンケートは122件頂き今後の参考にしたい。
- ・ 第45回東京都公民館研究大会は、平成19年12月16日(日)、昭島市で開催を予定している。

(6) その他

ア. 社会教育団体の追加登録について

(伊藤生涯学習課長補佐)

- ・ 前回より1月22日までの追加登録が3件あり、登録団体は90団体となった。

イ. 平成19年度放課後子供プランについて

(伊藤生涯学習課長補佐)

- ・ 地域子ども教室として文科省により実施されていたが、平成19年度より文科省と厚労省の共同で放課後子供プランとして実施される予定。
- ・ 委託事業から市への補助金制度になる。前年度と同様の予算組みがされており、事業は前年同様の実施が可能と思われる。(「放課後子どもプランの創設」参照)

- ・「平成19年度『放課後子どもプラン』について」には、文科省・厚労省の計画、小金井市の位置づけ、これまでの放課後対策や、別途作成される運営委員会について記している。
- ・『『小金井市放課後子どもプラン事業』の実施について(案)』には事業目的や体制、実施予定項目について記している。平成19年度に全校で校庭開放を実施することを目指したい。
- ・今後、運営委員会等を設置していく中で実施項目の詳細は決めるが、現段階では前年並みの実施を実現したい。
- ・「(仮称)小金井市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱(案)」第3条に運営委員会の構成が記され、社会教育委員会についてもこの運営委員会にご協力頂くことになる。任期は1年(第4条)。
- ・運営委員とは別にコーディネーターを置く。運営委員会事務局は、児童青少年課と連携しつつ生涯学習課で担う予定。
- ・コーディネーターは1人で5校区を担う。小金井市の場合は2名となる。

(石川教育部次長)

- ・コーディネーターの謝金については予算上は、3,600円を基準とし2人×週2日×50週で72万円を計上している。2人で妥当かどうかは運営委員会で検討していきたい。

(伊藤生涯学習課長補佐)

- ・運営委員会は一つですが、放課後子どもプランは各小学校区で行うので、地域教育会議へと発展する余地があると思う。

・

(社会教育委員)

- ・実際の活動に長けた方を各団体から出してもらうために、運営委員会の目的などの説明を積極的に行ってもらいたい。

・

(石川教育部次長)

- ・地域子ども教室でノウハウを蓄積された人に積極的に参加をお願いしたい。

ウ. 図書館の講演会について

- ・「桜雑学」と題し、名勝小金井桜など桜の話題を専門家に解説して頂く。
- ・日時 2月25日(日)午後1時30分から3時まで
- ・場所 緑センター レクリエーション室
- ・定員 70名
- ・講師 練馬区立「花と緑の相談所」相談員

エ. 第12回東京国際スリーデーマーチについて

(林体育課長)

- ・ 日程 5月3日、4日、5日
- ・ 主催者 日本ウォーキング協会、朝日新聞、日刊スポーツ新聞、小金井市
本年は加えて東京都西部公園緑地事務所、小金井公園サービスセンター
- ・ 小金井市は昨年同様、駅での案内、中央会場での整理を中心に協力する予定。
- ・ 都立小金井工業高校より奉仕の授業の一環として協力の申し出があり、市の協力の範囲内で受けたい。詳細は今後詰める予定。

(社会教育委員)

- ・ 都立小金井北高校は小金井市との連携が薄いようだ。平成19年度から都立高校で奉仕が必修科目になるので北高校にもニーズがあると思う。
- ・ 積極的にボランティア募集を発信すべきではないか。

(石川教育部次長)

- ・ 北高校とは大きなイベントなどのかかわりの中で機会をとらえて接触してみたい。
- ・ 昨年度は大会間近まで調整などが行われ、早い段階で伝えることには難しかった。
- ・ 大会の運営は日本ウォーキング協会を主体とし、市はむしろ地元の振興に重きを置いた。

オ. 小金井コミュニティスクールについて

(伊藤生涯学習課長補佐)

- ・ 地域での市民の学習活動として、まちづくり交付金の対象事業として企画された。趣旨は市内 NPO 団体、市民団体、個人の活動成果の市民への還元、市民への学習支援と共に団体の PR をして頂くことにある。
- ・ 講座内容により、応募者数には偏りがある。
- ・ 市民とタイアップし行政にはないノウハウを活かして頂くことを意識している。
- ・ 2月・3月に集中することはスケジュール的に好ましいとはいえ、より早く実施することが望ましいが、国や都の交付金との関係でこの時期になった。来年度は早い時期に立ち上げ年間でバランスよく配置をしたい。講師も早めに募集したい。

2. 協議事項

(1) 小委員会の開催について

(社会教育委員)

- ・ 次回小委員会は、第1回小委員会(1月15日)での〔課題〕に沿って議論を進める。

〔課題〕

- ・ 教育基本法の改正等もあり、以前提言を出した頃とは前提が変わりつつある。教育をめぐる状況の変化について議論が必要。
- ・ 放課後子どもプラン等を含めた、現在の小金井市の流れや状況を確認する必要がある。
- ・ 我々が目指す「地域教育力」とは何か。
- ・ 各団体や協議会の活動など、これまでの実績との係わりの整理。
- ・ 上記4点を踏まえたうえで、地域教育会議・ネットワークセンター構想の実現へ向けて具体的提言、施策の具体像をまとめていく。

(2) 三者懇談会について

(古屋図書館長)

- ・ 三者懇談会の内容・日程等については調整中。日程は3月のいずれかの月曜日に、図書館協議会の後、3時以降に三者懇談会を行いたい。
- ・ 議会日程が2月16日前後に決まるが、教育委員会と重ならない日程で行いたい。

[日程についてまとめ]

- ・ 全員出席は厳しいが、3月に予定されている2回の小委員会とあわせ調整する。

(3) その他

ア. 第44回東京都公民館研究大会の報告会について

(中嶋公民館長)

- ・ 1月16日、小金井市関係(公運審、企画実行委員会、職員)の報告会開催。
- ・ 1月18日、第8回企画委員会(17市関係者)開催。
- ・ 1月31日、上記の結果を都公民館連絡協議会役員会に予算等報告。
- ・ 今後、総会に向けての決算関係の議案書等を予定。

イ. 所得税法改正による社会教育委員の報酬に対する所得税額変更について

(木村主事)

- ・ 1月1日より所得税率の見直し及び定率減税の廃止に伴い、報酬の源泉徴収税額表が改正されたため、日額報酬1万円に対する所得税額1,560円が1,730円に変更された。

以上